

飲水思源

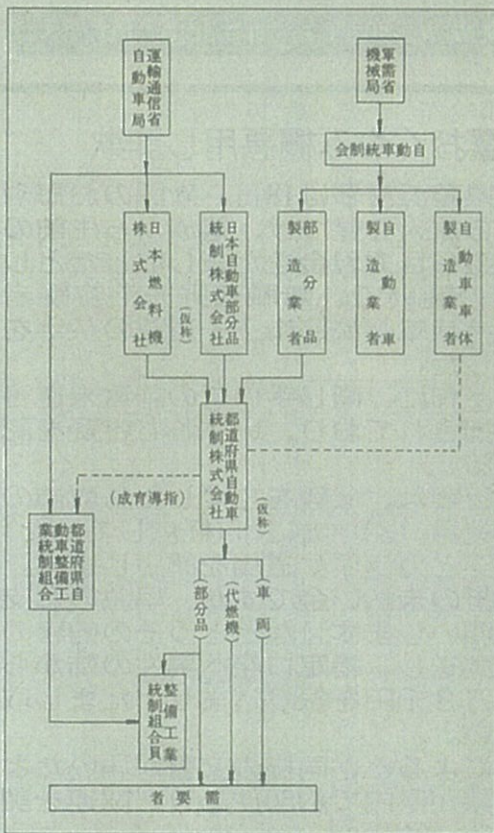
自動車販売のリーダー

13

菊池武三郎伝

国による車両の配給を 自動車配給機構の整備案
牛耳ろうとする動きを知 を押し付けようとした。
った菊池武三郎は、事の 会議は一方的に進んだ
重大さに驚いた。さっそ が、自配側は武三郎らが
く対策のため各地の自動 盛んに質疑をして食い下
車配給会社(自配)代表 があった。しかし、日本自
を東京に集めて協議し 動車配給(日配)、自配
た。当面、武三郎や山口 の統合を19年1月末まで
昇など有力者5人を東京 に完了することが言い渡
に常駐させるなど、自配 され、会議は終わった。
は結束して対応すること これに対し武三郎をは
にした。 じめ自配の代表者たち
事態は商工省を中心に は、徹底的な反対運動を
進展し、昭和18年10月に 業界誌上で展開すること
は自動車統制会の会合に と、反対意見書を関係各
関係者を招集。自配側に 方面に配布することを決

陰謀を粉碎



意見書で示された地方自動車整備配給会社の理想形態

販売店の「基礎」形成

定。反対意見書作成を担 書」との題名で、18年11
当した武三郎の決意は固 月に全国地方自動車整備
く、反国家的な文言を含 配給代表の名で送送され
む内容として処罰されて た。「はしがき」以下8
も仕方がないとの覚悟で 章からなり、自動車統制
取りかかった。 会の一部の策謀を指摘。
意見書は「自動車配給 意見書は非常に表現の
機構整備に関する意見 強いもので、当時の状況
であり、多くの矛盾があ の中で、自配代表者たち
が戦後の自配の
メーカー別分離
をスムーズに
し、現在の販売
店の基礎の形成につな
がった。もし日配、自配の
全国一元化が実現してい
れば、戦後の独占禁止法
によって配給会社は解体
され、収集が困難を極め
て販売店の形成が順調に
進展しなかった可能性も
あった。

掲載

〓〓〓〓、毎週金曜日
(文中敬称略)